

豊科南小学校だより



平成 29 年 2 月 15 日発行
No.6

<学校教育目標> 自分を生きる子
豊かに生きる子
ともに生きる子

安曇野市立 豊科南小学校
〒399-8205 安曇野市豊科 2723
電話：0263-72-2154
FAX：0263-72-3261

日頃は、本校の教育活動にご協力いただき誠にありがとうございます。
12月の感染性胃腸炎に続いて、1月にはインフルエンザ（A型）が流行し、
学級閉鎖をしたクラスもありました。先週あたりから徐々に罹患児童は減り
つつあります。しかし、B型の流行も心配されますので、引き続き予防を心
掛けていただくようお願いいたします。



学校評価へのご協力 ありがとうございます。

11月に実施した学校自己評価へは、多くの皆様にご意見を寄せていただきました。心より感謝申し上げます。

「平成28年度 豊科南小学校学校経営等に関する調査の結果報告」を別紙にて配布させていただきました。その調査結果から特に課題と考えていることについて、ご家庭の皆様よりいただいたご意見がありました。それらのご意見には、南小や子どもたちのことを思って、勇気を振り絞って敢えてお書きいただいたものもあったかと思えます。本当にありがとうございました。

お寄せいただいたご意見に対して、真摯に向かい合っていきたいと、職員一同気持ちを引き締めているところです。それについてのお答えを下記のようにまとめさせていただきました。

1 あいさつに関して

保護者のご意見の中に下の意見がありました。

家に遊びにきた子がきちんと家の人の前で「お邪魔します」「お邪魔しました」のあいさつができないことに驚きました。各家庭のしつけだと思うのですが、家と学校両方の指導が大切だと思います。『目の前の人を大事にする』という意味合いであいさつができたらいいと思います。

児童会では、早速『ひびかせよう！あいさつプロジェクト』が始まりました。子どもたちは、どんな場面でどんなあいさつをしていったらいいのかを考え、動き始めています。また、来年児童会を引き継ぐ5年生からも『あいさつは学校や家庭ばかりではなく、地域の方々にもしていきたい』と提案がありました。子どもたちも大人も、みんなで声に出してあいさつし合い、あいさつの輪を大きく広げていきましょう。

29年度は、南小学校では『あいさつ』に
いっそう力を入れていきます。家庭・学校
であいさつを交わしていきましょう。大人
からの働きかけがとっても大切です。『声
に出して気持ちを表すこと』によって、快活
な南小学校にしていきます。ご協力をお願い
いたします。



おはよう

2 家庭学習に関して



保護者の皆様には、『音読カード』にサインをしていただいたり、丸付けをしていただいたりと、家庭学習に毎日関わっていただき本当にありがとうございます。保護者の皆様にみていただくことは、子どもたちの学習の張り合いにつながっています。中には、意欲的に取り組めないというお子さんもいるかと思いますが、その原因がどこにあるのか学校でも探っているところです。お稽古事やスポーツクラブに通っているお子さんは、帰宅後学習をする時間はありますか？ 低学年のお子さんは親の目の届くところに落ち着いて学習できる場所がありますか？ 高学年のお子さんは自力で学習することができますか？ 家庭学習に取り組みやすいように個に応じた方策を考えていきます。家庭学習についての悩みは、早めに担任の方にご相談ください。共に考えていきましょう。

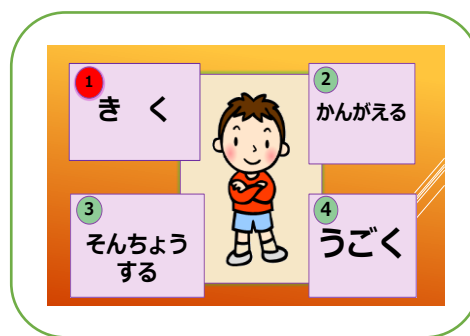
3 学校行事に関して

行事につきましては、毎年行事の後、反省をして次年度にどうつなげて行ったらいいかを熟慮しています。毎年職員は子どもたちにとって思い出に残る充実したものにしたと願い、限られた時間と予算とのせめぎ合いの中で、知恵を絞り合って取り組んでいます。改革後2～3年は改革前との比較から、どことなくさみしい思いをされる保護者の方々もおありではないかと察するところです。しかし、改革のためにはやむを得ない決断もあるということをご理解いただければありがたいです。平成27年度はじめ、『学校だより第2号』に、学校・学年行事等の見直しにあたって、学校の考え方を掲載させていただきました。基本的な考え方は変わっておりません。お手数でも参照していただければありがたいです。（豊科南小学校のホームページに掲載しております。）行事の中身につきましては、子どもたちの心身の成長を願って、創意工夫をしております。



4 いじめのない学校をめざして

『南小をよくする4つのキーワード』の内、『尊重する』は、子どもたちに特に大事にしてほしいことです。校長講話やふれあい旬間の授業等で、子どもたちは周りにいる人たちを大事にしていくことの大切さを学んでいます。学校では先生方自身が人権感覚を磨いていくことや、いじめや意地悪な行為、仲間外しなどが起こっていないかどうか、アンテナを高くして子どもたちの生活全般をみていくことに努めています。道徳の時間などで学んでいくことはとても大事なことです。それ以上に、日常の生活の中で学んだことがいかされていかなければなりません。



ご家庭でも、子どもたちの会話の中に人を下げすむような言葉が聞かれるようでしたら、その場で子どもの言葉を止めていただきたいと思います。また、子どもたちの何気ない行為の中に、人を傷つけたりするようなことがありましたら、『それは人としていけないことなんだよ』と伝えてください。もし学校で問題が起こった場合や、「これは問題だなあ」と感じた時には、ご家庭に連絡を取らせていただきます。一刻も早く実情を把握して、ご家庭と連携し合って、解決に向けて取り組みます。ご協力をお願いします。

今年度の登校日は、あと20日余りとなりました。引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。